

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 全産業活動指数(2009年7月)

発表日 2009年9月24日(木)

～4ヶ月連続で改善～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 小杉 晃子
TEL : 03-5221-4548

(単位:%)

		全産業活動指数											
		前期比		前年比		第3次産業活動指数		鉱工業生産指数		公務等活動指数		建設業活動指数	
08	1-3月	▲0.1	0.2	0.0	0.6	0.3	2.4	▲0.2	▲0.7	▲0.6	▲9.9		
	4-6月	▲0.8	▲0.9	▲0.4	▲0.5	▲1.3	0.8	▲0.8	▲1.4	▲2.3	▲11.8		
	7-9月	▲1.3	▲1.7	▲0.9	▲1.2	▲3.2	▲1.4	▲0.8	▲2.4	▲0.8	▲8.4		
	10-12月	▲2.7	▲5.0	▲1.7	▲3.0	▲11.3	▲14.5	0.6	▲1.1	2.7	▲0.9		
09	1-3月	▲6.2	▲11.1	▲3.1	▲6.5	▲22.1	▲34.6	0.0	▲0.4	▲0.6	▲1.1		
	4-6月	0.4	▲9.5	▲0.7	▲6.3	8.3	▲27.8	▲0.4	▲0.5	▲1.3	0.1		
08	1月	0.2	0.3	0.2	0.7	0.5	3.1	0.3	▲0.8	0.1	▲10.2		
	2月	▲0.1	1.4	0.2	1.9	0.5	5.3	0.1	▲1.7	▲0.6	▲10.0		
	3月	▲0.7	▲1.1	▲0.5	▲0.6	▲1.3	▲0.7	▲0.3	0.4	0.1	▲9.5		
	4月	0.0	▲0.1	0.2	0.5	▲0.6	1.8	▲0.4	▲2.1	▲1.0	▲10.5		
	5月	0.0	▲0.9	▲0.2	▲0.7	1.2	0.9	▲0.2	▲0.8	▲1.4	▲12.1		
	6月	▲0.9	▲1.6	▲0.6	▲1.2	▲2.0	▲0.2	▲0.1	▲1.2	▲0.8	▲13.0		
	7月	0.1	▲0.3	0.3	0.2	▲0.3	2.3	▲0.6	▲2.6	▲1.2	▲13.0		
	8月	▲1.0	▲3.6	▲0.9	▲2.8	▲3.1	▲7.2	0.0	▲0.8	1.9	▲8.2		
	9月	▲0.5	▲1.2	▲0.3	▲1.0	0.1	0.4	▲0.2	▲3.9	0.6	▲4.0		
	10月	0.2	▲2.5	0.0	▲1.6	▲3.4	▲6.6	0.6	▲1.4	1.2	▲1.3		
	11月	▲2.1	▲6.1	▲0.9	▲4.2	▲7.0	▲16.5	0.1	▲0.1	0.3	▲1.5		
	12月	▲2.5	▲6.3	▲1.7	▲3.3	▲8.4	▲20.7	0.1	▲1.8	0.6	0.0		
09	1月	▲1.2	▲8.9	0.5	▲4.3	▲10.1	▲30.9	▲0.9	▲1.1	▲1.3	▲1.5		
	2月	▲3.3	▲12.4	▲2.0	▲7.3	▲9.4	▲38.4	1.3	0.8	0.6	▲1.1		
	3月	▲1.6	▲11.8	▲2.7	▲7.7	1.6	▲34.2	▲0.1	▲1.0	▲0.5	▲0.9		
	4月	2.2	▲10.1	2.0	▲6.3	5.9	▲30.7	▲1.4	▲1.4	0.8	1.0		
	5月	0.5	▲10.3	▲0.4	▲7.3	5.7	▲29.5	1.1	0.8	▲1.5	1.0		
	6月	0.2	▲8.2	0.2	▲5.3	2.3	▲23.5	▲0.3	▲0.9	▲2.8	▲1.3		
	7月	0.5	▲8.2	0.6	▲5.4	2.1	▲22.7	0.3	0.5	▲3.1	▲3.3		

(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

○ 全産業活動指数：前月比+0.5%

7月の全産業活動指数は前月比+0.5%と、4ヶ月連続のプラスとなった。鉱工業生産指数や第3次産業活動指数の改善が継続したことで、前月(前月比+0.2%)を上回るプラスとなった。全産業活動指数は引き続き回復傾向にあることが確認された。

内訳をみると、プラスに寄与した指数は第3次産業活動指数(前月比寄与度: +0.42%ポイント)、鉱工業生産指数(同: +0.34%ポイント)、公務等活動指数(同: +0.04%ポイント) マイナスに寄与した指数は建設業活動指数(同: ▲0.20%ポイント)であった。

○ 第3次産業活動指数、鉱工業生産指数ともに改善

個別にみると、第3次産業活動指数は前月比+0.6%と、2ヶ月連続でプラスとなった。エコカー減税やエコポイント制度をはじめとした景気対策の効果によって小売業が4ヶ月連続でプラスとなったほか、輸出や生産の回復により卸売業が2ヶ月ぶりにプラスに転じたことがプラスに寄与した。

鉱工業生産指数は前月比+2.1%と、5ヶ月連続でプラスとなった。国内外における在庫調整の進展や海外需要の持ち直しにより足もとの生産は回復傾向が継続している。

一方、建設業活動指数は前月比▲3.1%と、前月(同▲2.8%)から減少率が拡大した。民間・建設・土木活動指数は、雇用・所得環境や資金調達環境の悪化を背景に減少が続いている。また、公共・建設・土木活動指数も、2008年度の補正予算の効果の剥落により公共投資の伸びが鈍化したため、ここにきて低迷している。

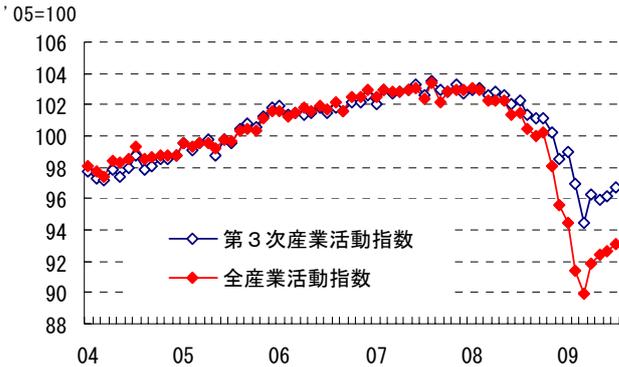
○ 先行き輸出や生産の回復に伴い、回復傾向が続く見込み

全産業活動指数の先行きを展望すると、第3次産業活動指数に関しては、家計部門において、今後は景気対策による押し上げ効果が弱まってくることや雇用・所得環境の悪化が持続していることを考慮すると、当面、回復力の乏しい動きが続くと予想されるものの、企業部門は、企業収益の持ち直しや輸出・生産の回復から、今後も回復傾向が続くと見込まれるため、総じてみれば緩やかな持ち直しに転じよう。

鉱工業生産指数については、輸出の回復が続いていることや、生産予測指数において8、9月も引き続き大幅な上昇が予想されていることなどを踏まえると、先行きも引き続き増加傾向で推移する可能性が高い。

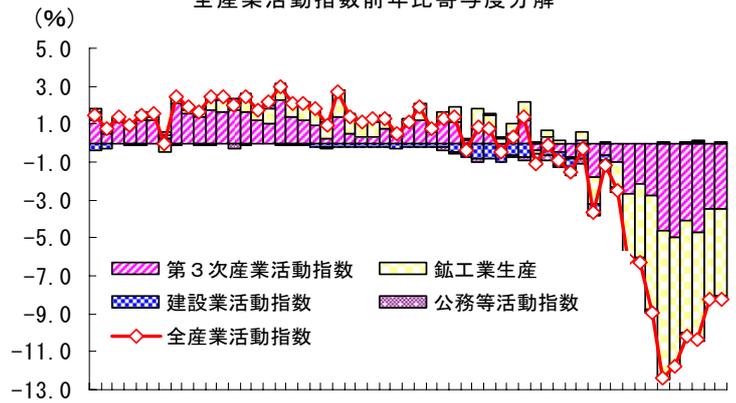
輸出や生産の回復に伴って、全産業活動指数は今後も当面、回復傾向が継続されよう。

第3次産業活動指数と全産業活動指数(季調値)



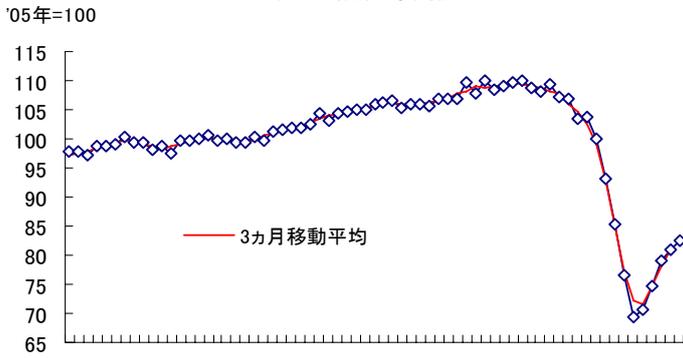
(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」「全産業活動指数」

全産業活動指数前年比寄与度分解



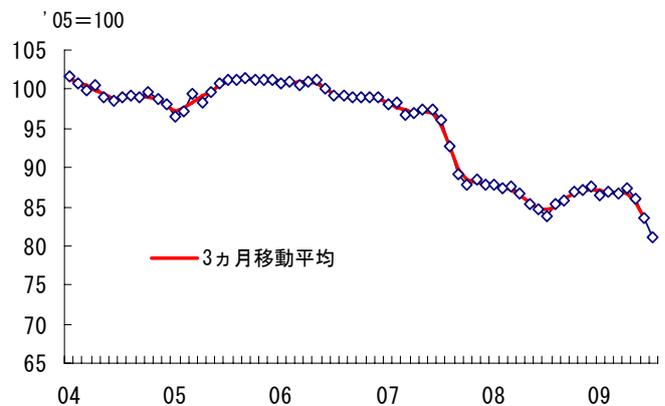
(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

鉱工業生産指数(季調値)



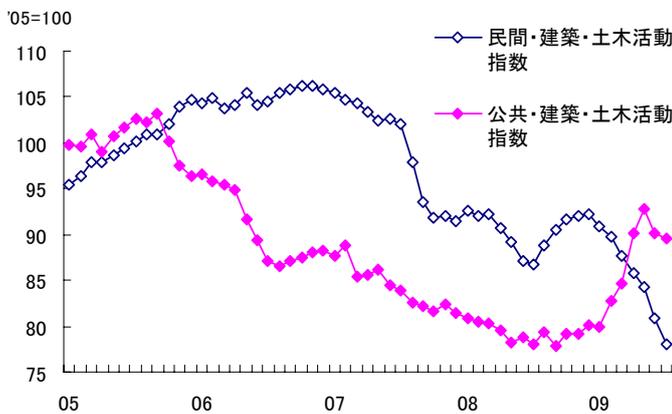
(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

建設業活動指数(季調値)



(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

建設業活動指数(季調値)



(出所) 経済産業省「全産業活動指数」